

絆

赤井むつみ後援会便り第64号

笑顔あふれる温かい町に！

2024年6月発行



第2回定例会 補正予算の主なもの

<農業費：1億2022万5千円>

2405万8千円：水稻もち米価格安定緊急
対策事業補助金

9616万7千円：酪農経営安定緊急対策事
業補助金

※農業の安定経営を図るため、ふるさと応援
基金より、町単独の補助金です。

<商工費：1519万1千円>

鉛川レクリエーションセンターの温泉ポン
プの機械器具等修繕料（一般財源より）



※今年の3月に譲渡の
予定でしたが、修繕が
間に合わないため1年
延期となりました。

<総務管理費：390万5千円>

社会保障・税番号システム改修業務
委託料（国庫補助金）

※7月に国民健康保険証の交付が行わ
れ、その保険証は来年7月まで使用でき
ます。マイナンバーカードのない方には、
資格保険証が発行され、3割負担で受診
できます。現在の保険証を残すほうが、
わざわざ資格保険証を発行する手間とお
金がかからないのに、国は何のために、
このような方法をとるのでしょ？？

<総務管理費：2271万3千円>

1234万円：旧八雲養護学校用地購入費

825万円：関係人口創出拡大業務委託料

212万3千円：旧すまいる熊石改修工
事実施設計業務委託料

※旧八雲養護学校は、今後災害備蓄等に活
用する予定です。

※関係人口創出拡大事業は、熊石地域で『保
育園留学』等の実施に向け、専門業者への
委託料

※旧すまいるを、シェアハウスやゲストハ
ウスとして活用するための設計費委託料

文教厚生常任委員会

の報告より



☆2023年度病院決算（赤字額）の速報！ 常勤医師の不足が、赤字の大きな要因です。

八雲総合病院：2億5886万3千円 熊石国保病院：8263万3千円

☆定額減税調整給付金給付事業！ 政府与党政策懇談会による指示、「デフレ完全脱却のための総合対策」により定額減税が導入されますが、定額減税を十分に受けられない厳しい状況にある方に対し、その差額を給付し生活支援を図ります。

支給対象人数：2,400人 予算額：9135万8千円（事務費635万8千円含む）

7月下旬に確認書等を発送し、8月下旬に初回振り込み 10月末日が申請期限

この定額減税では、各事業所も大混乱していると思いますが、町としても仕事量が増大するため、会計年度任用職員を採用して対応に当たるとのこと。報告を受け『これは最大の愚策』との声が上がりました。

一般質問



Q1.沿岸漁業の危機的な状況への対応は？

近年、八雲町では日本海側でも太平洋側でも魚が獲れなくなっています。原因は様々だと思えますが、ホタテ養殖をしていない漁業者にとっては死活問題で、出稼ぎに出ているところもあると聞いています。温暖化の影響等を考えると、今後、以前の状況に戻ることは難しいと感じます。

八雲町の総合計画の主要施策に「経営基盤の安定・強化」があげられています。今のような水産業の危機的な状況において、町としてはどのような対策をお考えでしょうか？また、熊石の水産試験研究施設の試験で、今の問題を少しでも緩和できる成果があれば教えてください。

A1.漁協など関係機関と連携し、対策を検討！

漁業は漁業権の関係でとても難しい。しかし、魚種ごとに格差はあるものの、全体として漁獲量は減少傾向にあり、さらに地球温暖化による海水温の上昇は、魚類やその他の海洋生物の生息環境に大きな影響を及ぼしていることから、漁船漁業はもとより、ホタテ養殖漁業についても予断を許さない状況にあることは認識している。気候変動に応じた新たな漁法や資源の開発、資源の管理手法の見直し、温室効果ガス削減に向けた藻場造成など、国や道などに対応や支援を要請すると共に、漁協等関係機関と連携し、海域の特性に応じた対策を検討する。水産試験研究施設では海藻類、魚類、ウニなどの共同研究に取り組んでいるが、この問題に直結する成果はない。

Q2.町内コミュニティの強化を！

人口減少が加速化する中で、各自治体はそれぞれに住みよいまちづくりを目指し努力しています。最近注目されている「自治体の幸福度ランキング」を見ると、美しい自然に恵まれている、交通インフラや公共交通機関の整備も行き届いている、更に住民同士の交流や協力が盛んなところが幸福度が高いことが分かっています。八雲町も中高生に八雲の良い所を聞くと嬉しいことに『自然が豊か』『町民が優しい』という答えが返ってきます。ただ残念なことに、町内のコミュニティを見ると、町内会加入者の減少や活動の停滞を感じられます。今は、何とか頑張っている方達のおかげで成り立っている状況なので、その方達と十分話し合いながら、早急に対応が必要だと思います。町内会の再編等はもちろん、町内のコミュニティそのものの在り方を多方面から検討し、住民同士が互いに支えあい、助け合える関係を検討すべきと思いますが、町長のお考えをお伺いします。

A2.幸福度向上に寄与する取り組みを提供できるよう努める！

町内会組織の再編にあたっての課題を探るため、令和3年にアンケート調査を実施したところ、「町内会の再編は必要ない」「難しい」が約8割、また、5割が町内会の再編に対し、行政の積極的な関与と推進を望んでいないという結果が出た。地域課題の解決にあたっては、今後も町内会の主体性を損なうことがないように、支援策を講じていくのが町の役割であることを再認識。しかし、人口減少は進み、解散した町内会も出てきたり、外国人居住者が増えてくるなどの環境の変化や個々の価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域のコミュニティ確保はますます厳しくなっている。地域の主体性を尊重するとともに、住民の支え合いの心を醸成し、幸福度向上にも寄与する取り組みを提供できるよう努める

私は八雲町が好きなので『自治体の幸福度ランキング』1位になっても良いのではと思っていますが、漁業を見るととても幸せを実感できる状況にはない事、地域のコミュニティもまだ十分ではないなど、大きな課題もあります。みんなで知恵を合わせ課題解決に向けて一緒に考えていきましょう！

第40回 八雲山車行列 開催!

42年前、リヤカー4台から始まった山車行列も今年で40回目を迎えます。コロナによって開催できない年もありましたが、今年は7月5・6日(金・土)の2日間開催します。コースを変更した昨年同様のコースとなります。お天気が気になりますが、みんなで大いに盛り上げたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします!

1日目: 7月5日(金) 午後7時に図書館を出発します。(雨天順延)

コース: 図書館 → 駅前 → はぴあ → 労金(審査) → 梅雲亭横 → 役場駐車場

2日目: 7月6日(土) 午後5時 役場駐車場でお囃子披露 午後7時役場駐車場前出発

コース: 役場 → 梅雲亭横 → 駅前(打ち上げ) → 山車保管庫収納

皆様の参加・ご協力を心よりお待ちしております!

キャンプ村設置!

第40回八雲山車行列を、町内外のみんなの力で盛り上げよう! そのため宿泊先を心配せず参加しやすくしようという趣旨で『山車行列キャンプ村』を、さらんべ公園(テントサイト)ユーラップ公園(イベント会場)で行います。6/29・6/30・7/7は「エコ・防災広場」と連携します。

☆ 日時: 6月29日(土)~7月7日(日) ※期間中、エゾドームハウス展示

☆ 主な内容: 6/29 12:00~21:00 マルシェ・キッチンカー8台・木彫り熊・チーズ作り
ベリーダンス・大道芸・YOSAKOI 函館学生連合・キャンプファイヤー・オタ芸・星空観察(20時)など

6/30 11:00~16:00 マルシェ・キッチンカー8台・木彫り熊・チーズ作り
チェーンソーアート・けん玉・大道芸・スコップ三味線(熊石)・空手・ダンス・パフォーマンス等

7/ 1~5 町外参加者の山車づくり・7/3は、星空観察(20時)

7/ 4 17:30~20:00 山車行列前夜祭(参加団体踊り等披露)
キッチンカー(5台)

7/7 10:00~13:00 防災用具展示と体験・自衛隊の炊き出し試食200食



第40回 八雲山車行列参加団体と隊列 7月5日(金) 6日(土)

- 1) 踊りの会
- 2) どどん鼓座
- 3) わらべ囃子
- 4) マリア幼稚園
- 5) レディースネット&やくも寺子屋
- 6) NPO やくも元気村&八雲村と交流を進める会&おやじの会
- 7) Besties
- 8) 勝太鼓
- 9) 若人の集い
- 10) メイン山車(実行委員会) 40年山車
- 11) 鉄道運輸機構
- 12) テスク&祭人
- 13) ヒラタハウス
- 14) 商工会
- 15) ボデーショップ八雲
- 16) 総合病院
- 17) 八雲町役場
- 18) JA&フェアリーテール

今年は40年という節目の年なので、毎年応援に駆けつけてくれる『テスク&祭人』の皆さんが71人も来てくれることになりました。また、20人もボランティアの皆さんも町外から駆けつけてくれます。町内外の多くの力をお借りして40回目の大行列を大いに盛り上げたいです!

議会報告会 開催!

<八雲地域>

日時：7月22日(月) 13:30~

会場：はぴあ八雲 18:30~

<熊石地域>

日時：7月22日(月) 13:30~

会場：熊石ふれあい交流館

<落部地区>

日時：7月22日(月) 18:00~

会場：落部町民センター

八雲町も人口減少が進んでいますが、町内を見ると建設中の新しい家やアパートも目につきます。ですからまだまだ活気が感じられるのですが、後継者不足や人手不足は重要課題です。これからも元気な八雲町を継続するにはどうしたらよいか一緒に考え、実現していきましょう。

私は、熊石地域と はぴあ夜担当です!ぜひ、お越しくださいね!お待ちしております!!

<八雲も国際化!>

円安で海外からの観光客が増えているというニュースを何度も目にしますが、八雲町にも多くの皆さんが来町してくれています。6月に入ってからも、台湾、タイ、シンガポール、カナダ、オーストラリア、フランス、中国のお客様にお会いしました。中には千歳から函館に行くのに、途中八雲に寄ってくれたという方も……。高速をわざわざ降りて来てくれるのは、とても嬉しいです。

八雲町は静かで自然も豊か、町もきれいという感想をいただきました。



marché (マルシェ) in センター 13:00~15:00

毎月、**第2土曜日**に SENTO の前で、マルシェを開催します。地元の野菜や海産物などを、お買い得価格で販売しておりますので、是非、のぞいてみてくださいね!(どれも新鮮でおいしいですよ!)

毎月、**第2土曜日**は「元気食堂」(子ども食堂)をシンフォニー/SENTOで行っています。お子さんは無料、大人は300円です。時間は11時~13時までですので、是非、お子さんと一緒にいらしてください!持ち帰りでもOKです。(大人だけでもOKです!)



フリースペース『お茶の間』完成!

旧八雲新報社さん(末広町)を改修して、何となく寄っておしゃべりできる場所、子ども達にとっては第3の居場所となれるような場所を目指して準備しています。「ここに来たら少し元気になった」「おもしろい出会いがあった」「雑談しただけだけどスッキリした」「みんなも迷っているんだな~」等々。特別なことはないけれど、自分の事、周りの人達の事が好きになれる場所になってくれるといいな~と思っています。オープンしたら是非、遊びに来てくださいね!

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126 FAX=62-3632

電話=080-5588-2090(赤井) (赤井むつみでブログの検索を!)

赤井自宅 栄町56-12(栄町3区) ☎ 63-2090